

## 施設概要

- ・病院名称 独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター
- ・所在地 〒654-0155 兵庫県神戸市須磨区西落合3-1-1
- ・管理者 院長 宇野 耕吉

### 診療科目

- 内科 ●糖尿病内科 ●感染症内科 ●心療内科 ●精神科 ●神経内科 ●呼吸器内科 ●消化器内科 ●循環器内科 ●小児科
- 外科 ●消化器外科 ●乳腺外科 ●整形外科 ●脳神経外科 ●呼吸器外科 ●形成外科 ●皮膚科 ●泌尿器科
- 産科 ●婦人科 ●眼科 ●耳鼻いんこう科 ●リハビリテーション科 ●放射線科 ●放射線治療科 ●麻酔科 ●緩和ケア内科
- 病理診断科 ●腫瘍・血液内科

### 病床数

- 総病床数304床
- ・3階東…50床 ・3階南…28床
- ・4階…40床 ・4階東…50床
- ・5階東…50床 ・5階西…40床 ・5階南…40床
- ・ICU・CCU…6床

### 施設データ

- ・敷地面積…54185㎡
- ・延床面積…24621㎡
- ・構造…鉄筋コンクリート造 地上5階建て

### 沿革について

- 大正 7年10月 7日 神戸市立屯田療養所として発足。
- 昭和16年 5月27日 神戸市立多井畑療養所として神戸市立屯田療養所を統合
- 昭和18年 4月 1日 日本医療団に移管、日本医療団多井畑療養所となる
- 昭和22年 4月 1日 厚生省に移管、国立神戸療養所となる。
- 昭和49年 4月 1日 国立療養所神戸病院となる
- 昭和56年 4月 1日 療養所から病院に転換、国立神戸病院となる。
- 平成13年 3月 1日 国立病院・療養所の再編成計画に基づき、国立明石病院と国立神戸病院の地で統合し、国立神戸病院となる。
- 平成16年 4月 1日 国立病院・国立療養所が独立行政法人国立病院機構として発足、神戸医療センターとなる。

## 病院までのアクセス

- 電車** JR「三ノ宮」駅・阪急電鉄・阪神電車「三宮」駅下車  
乗換 神戸市営地下鉄「名谷」駅下車  
800メートル 徒歩10分
- 新幹線** 新幹線「新神戸」駅下車  
乗換 神戸市営地下鉄「名谷」駅下車
- 飛行機** 「神戸空港」からポートアイランド線 三宮（ポートライナー）行「三宮」駅下車  
乗換 神戸市営地下鉄「名谷」駅下車
- バス** 名谷駅から「神戸医療センター前」下車  
（神戸市営循環バスの76番）  
垂水駅から「神戸医療センター下」下車  
（山陽バス・名谷行き）



独立行政法人 国立病院機構  
**神戸医療センター**

〒654-0155 兵庫県神戸市須磨区西落合3丁目1-1

TEL 078-791-0111  
FAX 078-791-5213

<https://kobe.hosp.go.jp>



NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION

# KOBE MEDICAL CENTER



すべての人の立場にたった  
医療サービスを提供します

独立行政法人 国立病院機構  
**神戸医療センター**

神戸医療センターの理念

# 国立病院機構は140病院からなる 日本最大級の医療ネットワークです。

神戸医療センターは、その医療ネットワークのスケールメリットを活かすと同時にすべての人の立場にたった医療サービスを提供します。

## 院長挨拶

平成31年4月より院長を拝命しました宇野 耕吉(うの こうき)です。

当病院は1918年に神戸屯田療養所として開設され、国立の結核療養のための施設として機能していたことに端を発します。2004年から独立行政法人化し、現在の国立病院機構神戸医療センターとなりました。

100年以上の歴史がある当病院において、公共性・公益性を基本として地域住民の健康を支えるという理念には変わりありません。主に須磨区、垂水区、西区の住民を支え、地域医療支援病院として地域の病院やクリニックとの連携を図るとともに、304床の病床と30の診療科を有し幅広い疾患に対応しています。

1987年からは二次救急の受け入れも行い、救急科外来患者数や時間外救急車搬入件数は年々増加傾向となっています。また、当院では、中規模病院の特徴を生かして、小回りが利く医療を展開しています。

医師が通常使う部屋はあえて診療科ごと用意せず、誰もが自由に利用できるスペースを設けています。

さまざまな診療科の医師が同じ部屋にいますので、コミュニケーションが取りやすく、日頃の診療にも生かされています。職員の国民の健康に寄与したいという意識は高く、今回の新型コロナウイルス感染症拡大時にも早期から受け入れ病院として手を上げました。接遇にも力を入れており、親身な術前術後のケアを行うことにより、患者さんに高い満足度を得ていただくことを目標としています。そういった気風は私が研修医で当院に来た頃から息づいており、これからも大切にしていきたいと思っています。老朽化した当施設も近く新設する予定であります。これからも、地域の方々が安心して生活できるようニーズに応えながら、職員一丸となって努力していく所存ですので、何卒よろしく願いいたします。

独立行政法人国立病院機構  
神戸医療センター 院長

宇野 耕吉

## 神戸医療センターの基本方針



## 臨床における倫理方針

当センターでは、患者さんの尊厳及び人権に配慮し、医療の進歩に貢献します。

- ① 患者さんの人権を守ります。
- ② 患者さんの自己決定権を尊重します。
- ③ 生命倫理に関するガイドラインを遵守して、治療を行います。
- ④ 倫理委員会で審議を行い、治療方針を決定します。
- ⑤ 医療の進歩に必要な研究を実施します。

## 患者さんの権利について

神戸医療センターは、「患者さんの権利宣言」(リスボン宣言)を尊重します。

- ① 人格や価値観を尊重される権利があります。
- ② 良質で公平な医療が受けられる権利があります。
- ③ 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- ④ 治療法を選択できる権利があります。
- ⑤ 個人情報を守られる権利があります。
- ⑥ あなたの診療記録の開示を求める権利があります。

# 3つの特色

がん  
診療連携  
拠点病院

地域  
医療支援  
病院

母乳  
育児への  
取り組み



## 01 /

### がん診療連携 拠点病院



#### 兵庫県指定がん診療連携拠点病院の指定

平成21年4月に神戸市二次医療圏で3カ所目となる「地域がん診療連携拠点病院」として厚生労働省の指定を受け、平成27年4月には「兵庫県指定がん診療連携拠点病院」として兵庫県の指定を受けました。当センターは、神戸市二次医療圏内の胃がん、大腸がん分野における中核施設として、医療水準の均てん化に貢献することが期待されており、地域のがん診療の向上、がん予防の啓発活動を積極的に推進しています。

## 02 /

### 地域医療 支援病院



#### 地域医療連携(地域医療支援病院)

地域とのより一層の緊密な連携を図るため、地域医療連携室を活用し、円滑な紹介患者の受入と開放型病床の導入、大型医療機器(CT、MRI)の共同利用を図っています。また、須磨区、垂水区だけでなく西区、北区、長田区を加えた幅広い病診連携を進め、令和3年度の紹介率は、72.5%、逆紹介率73.9%となっており、地域医療支援病院は、平成24年11月14日付で名称承認を受けています。

## 03 /

### 母乳育児への 取り組み



#### BFH(赤ちゃんにやさしい病院)施設の認定

ユニセフ(国連児童基金)／WHO(世界保健機関)が乳幼児の健康維持を図ることを目的として、母乳育児を実践する施設に対し、BFH(Baby Friendly Hospital)「赤ちゃんにやさしい病院」として認定しており、当センターにおいてもその実績が認められ、平成21年8月に認定され、令和4年7月に更新いたしました。なお、日本では66施設、兵庫県下では4施設(2021年10月現在)が認定されています。

#### 母乳育児支援の基本理念

すべての赤ちゃんの<おっぱいを吸いたい>という本能を守り、母親の<おっぱいをあげたい>という自然な想いを育む母乳育児支援をいたします。

最新鋭医療機器紹介

血管撮影装置を導入



▲Philips社製 Azurion7 B20/12

2021年11月1日に、フィリップス社製の新世代の血管撮影装置を導入しました。神戸医療センターでは、脳血管領域、腹部血管領域、心臓血管領域などの循環器系疾患や悪性腫瘍に対するカテーテル診断から治療までを行っています。この装置はカテーテル治療の手技をサポートする様々な機能を有し、従来よりもさらに高精度なカテーテル治療が実現可能となりました。また、さらなる合併症のリスクを最小限に抑える機能や被ばく線量を低減させるテクノロジーが実装されています。

装置の寝台には専用の低反発マットを装備しており、カテーテル治療中の患者負担軽減の装備も取り入れております。

マンモグラフィ装置を新規更新

当院のマンモグラフィ検査は原則、女性技師が対応します。



▲Netcam社製 mammodite (マンモディーテ)

当院の乳房撮影装置をFUJIFILM社製 AMULET Innovalityを導入しました。また、マンモグラフィ専用読影診断ワークステーションとしてNetcam社製mammodite (マンモディーテ)を新規導入しました。導入したシステムは微少な病変の検出率が高く、より高精細なマンモグラフィ検査と診断が可能となり、高精度な乳房撮影システムの構築を実現しました。



▲FUJIFILM社製 AMULET Innovality

全身用80列マルチスライスX線CT診断装置

病気の精密検査、手術前の精密検査、経過観察、肺炎などの炎症の有無確認や骨折の有無など様々な目的で検査を行っています。



▲キヤノンメディカルシステムズ社製 Aquilion PRIME SP

▲下肢血管3D画像

当院では、低被ばくで高画質な検査が可能なキヤノンメディカルシステムズ社製の全身用80列X線CT診断装置「Aquilion PRIME SP」を新規導入し、2021年10月1日より全身用80列X線CT装置が2台体制での診療を開始しました。今回導入したCTの特徴は、「広範囲を高速で撮影が可能」「さらなる被ばく低減を実現」「従来CT装置で問題となっていた金属による画像の乱れを除去する機能」が搭載されたことです。また、CT装置の開口部は780mmワイドボア設計のため、検査中の圧迫感が感じることが少ない装置です。さらに最新技術である人工知能(AI)技術の1つであるディープラーニングを用いた新しい画像再構成技術(AiCE)が搭載され、ノイズの少ないクリアなCT画像を得ることが可能となりました。その技術を活用することでさらなる被ばく低減が可能となりました。

診療科のご紹介

5階	東病棟	内科・消化器内科・糖尿病内科
	西病棟	内科・呼吸器内科・眼科・皮膚科
	南病棟	内科・循環器内科・脳神経外科
4階	東病棟	整形外科・リハビリテーション科
	南病棟	産科・婦人科
	西病棟	小児科・整形外科・形成外科
		母子医療センター
3階	東病棟	外科・乳腺外科・整形外科・泌尿器科・耳鼻いんこう科
	南病棟	内科・外科・脳神経外科・ICU・CCU
	西病棟	中央手術室・中央材料室
2階		検査科・管理部門・医局・治験管理室・地域医療研修センター・会議室
1階		医師(受付・会計)・薬剤部・地域医療連携室・がん相談支援センター
		外来診療室・放射線科・リハビリテーション科・栄養相談室・理容室
		食堂売店・授乳室

フロアマップ



各種施設のご案内

